

一般社団法人日本老年歯科医学会 2021年度第4回理事会議事録

日 時：2021年5月28日（金）14：30～18：00

Web開催

出席：水口俊介、羽村章、上田貴之、池邊一典、小野高裕、山崎裕、小笠原正、菊谷武、戸原玄、佐藤裕二、吉田光由、松尾浩一郎、河相安彦、竹島浩、大神浩一郎、石黒幸枝、柏崎晴彦、高橋一也、岩佐康行、平野浩彦、弘中祥司、米山武義、糸田昌隆、服部佳功、菅武雄、大野友久、會田英紀、渡邊 裕 各理事（28名）

欠席：片倉朗、阪口英夫 各理事

陪席：山根源之、森戸光彦 監事（2名）
櫻井薫、山根瞳 名誉会員（2名）

幹事

出席：金澤学、竜正大、高橋利士、堀一浩、太田緑、中根綾子、佐川敬一郎、原豪志、高橋賢晃、伊藤誠康、田村暢章、大久保真衣、貴島真佐子、赤松那保、小原由紀、川本章代、若杉葉子、森田一彦、遠藤眞美、田中恭恵、山添淳一 各幹事（21名）

欠席：岡田和隆、古屋純一、石川健太郎、尾崎研一郎（4名）

I. 開会の辞

羽村副理事長より、開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

水口理事長より、学会活動への感謝の意が述べられた。

III. 議長選出

定款に則り、水口理事長が選出された。

IV. 確認事項

1. 定足数の確認〔定款第32条、理事現在数（30名）の2分の1以上の出席〕
上田理事（総務担当）より、28名の出席がある旨報告があり、定足数〔定款第32条、理事現在数（30名）の2分の1以上の出席〕を満たしている事が確認された。
2. 2020年度第18回理事会議事録
上田理事より資料を元に説明があり、確認された。
3. 2021年度第1・2・3回理事会議事録
上田理事より資料を元に説明があり、確認された。

V. 協議事項

1. 名誉会員の推薦について
柿木保明先生を推薦することが承認された。
2. 2020年度事業報告及び収支決算について
水口理事長より資料をもとに2020年度事業報告が、山崎理事より資料を元に2020年度の収支決算の説明がされた。また、積立金についても個別に説明がなされた。山根監事より監査報告が行われ、2020年度事業報告および収支決算が承認された。

3. 2021年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
水口理事長より資料をもとに2021年度事業計画案が、山崎理事より資料を元に2021年度の収支予算案の説明がされ、承認された。会員数が増えたことから、日本歯科医学会からの補助金が増える予測が補足された。事業活動収支差額より収入多寡が懸念されたが、積立金等にて調整を行っている旨が説明された。
4. 2021年度日本歯科医学会会長賞候補者の推薦について
水口理事長より説明があり、米山武義を推薦することが承認された。
5. 新規入会者の承認について
上田理事より説明があり、資料の通り新規入会者が承認された。
6. 代議員選出規程の一部改正について
上田理事より説明があり、原案の通り代議員選出規程の一部改正が承認された。
7. 学術大会時研究発表の会員資格について
上田理事より説明があり、原案の通り学術大会時研究発表の会員資格が承認された。合同学会の分科会の会員も共同発表者登録料にて発表可能とすることが説明された。
8. 「歯科訪問診療における感染予防策の指針 2021年版」について
水口理事長より説明があり、老年歯科医学に掲載することが承認された。今後は編集委員会に一任することとなった。
9. 診療参加型臨床実習マニュアル「摂食嚥下障害スクリーニングテスト」（作成中）の活用について
水口理事長と小笠原理事から説明があり、教育委員会にてマニュアルを作成中であることが報告された。教育委員会だけでなく、摂食嚥下リハビリテーション委員会との合同での編纂とすることとした。目的を明確にしてから、常任理事会に報告して頂くこととした。公開に関しては、老年歯科医学の電子版に掲載し、申し込みがあったものに対してPDFを供給するような形とすることとした。配布用のPPTファイルなども必要であれば作成・提供することとした。
10. 日本歯科専門医機構 総合歯科専門医（仮）について
水口理事長より、資料を元に現状の説明がされた。日本老年歯科、有病者歯科、障害者歯科を対象とすることとした。歯科医師会は外れる方向となった。専門医の内容が明確になったので、これから教育のコンテンツに関して議論することとした。新しい名称も検討していることが報告された。研修施設の認定に対して30万円を機構に対して拠出することが承認された。

VI. 報告事項 *資料に記載されている事項は割愛し、補足説明または追加事項のみ発言してください。

1. 会務報告

水口理事長より、各委員会からの報告を聞いて頂くよう依頼がされた。

2. 総務報告

上田理事より、資料を元に会員数の報告がされた。

3. 学術報告

1) 学術委員会報告

池邊委員長より資料の通り活動が報告された。

2) 第32回学術大

河相大会長より、資料を元に進捗が報告された。

3) 第33回学術大会

小野大会長より、資料を元に進捗が報告された。

4) 第34回学術大会(菊谷大会長)

菊谷大会長より、合同大会であるために、各学会との調整がされている旨が報告された。2023年6月15日日本老年学会が、16-18日に日本老年歯科医学会がパシフィコ横浜で開催され、IAGGも同時に開催されることが報告された。

5) 令和2年度(2020年度)老人保健健康増進等事業 報告

吉田理事より、報告書が提出された旨が報告された。

6) 令和3年度(2021年度)老人保健健康増進等事業 計画

渡邊理事より、事業が採択された旨が報告された。

7) 令和2年度厚生労働省委託事業 報告(池邊理事)

池邊理事より、報告書を提出し、3年間の事業が終了した旨報告された。

8) 令和元・2年度 日本歯科医学会プロジェクト研究 報告(平野理事)

平野理事より、報告書の提出と論文の投稿がおこなわれた旨、報告された。

4. 編集報告(総会)(小野委員長)

小野委員長より、資料を元に活動状況が報告された。

5. 財務報告(総会)(山崎委員長)

山崎委員長より、資料を元に活動状況が報告された。

6. 各種委員会 2020年度活動報告および2021年度活動計画(総会)

1) 教育委員会

小笠原委員長より、資料を元に活動状況が報告された。

2) 社会保険委員会菊谷委員長

菊谷委員長より資料を元に活動状況と6つの医療技術提案書を企画している旨が報告された。

3) ガイドライン委員会

戸原委員長より資料を元に活動状況が報告された。

4) 在宅歯科医療委員会

上田理事より資料を元に活動状況が報告された。

5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会

吉田委員長より資料を元に活動状況が報告された。

6) 国際渉外委員会

松尾委員長より資料を元に活動状況と次回学術大会の国際シンポジウムは字幕が入る旨が報告された。

7) 広報委員会

河相委員長より資料を元に活動状況と学会キャラクターを使用する際には学会への報告が必要である旨が報告された。

8) 研修委員会

竹島委員長より資料を元に活動状況が報告され、研修プログラムを会員への周知が依頼された。

9) 学術用語委員会

大神委員長より資料を元に活動状況と2023年3月末に用語集は発行されることが報告された。

10) 歯科衛生士関連委員会

石黒委員長より資料を元に活動状況が報告された。

11) 認定制度委員会

柏崎委員長より資料を元に活動状況が報告された。

12) 専門医試験問題委員会

高橋委員長より資料を元に活動状況が報告された。

13) 多職種連携委員会

岩佐委員長より資料を元に活動状況が報告された。

14) 支部・地域保健医療福祉委員会

平野委員長より資料を元に活動状況が報告された。

15) 学会間連携委員会

弘中委員長より資料を元に活動状況が報告された。

- 16) 表彰委員会
米山委員長より資料を元に活動状況が報告された。
- 17) 規程委員会
遠藤幹事より資料を元に活動状況が報告された。
- 18) 倫理委員会
服部委員長より資料を元に活動状況が報告された。
- 19) 倫理審査委員会
糸田委員長より資料を元に活動状況が報告された。
- 20) 利益相反委員会
菅委員長より活動が行われていない旨が報告された。
- 21) 特任（病院歯科）委員会
大野委員長より資料を元に活動状況が報告された。

7. 日本歯科医学会報告（総会）

羽村副理事長より第24回日本歯科医学会学術大会に参加していただきたい旨、また、参加の際には日本老年歯科医学会所属として参加するように依頼があった。

8. 日本歯科医学会連合報告

水口理事長より1/28にフォーラムが開催され、松尾理事が登壇したこと、医療問題関連事業の課題に1件応募したこと、が報告された。

9. 日本歯学系学会協議会報告

羽村副理事長より、6/29に日本学術会議共催の講演会が開催されること、新型コロナウイルス感染症ワクチン摂取可能歯科医師の登録の説明が行われた。

10. 歯学系学会社会保険委員会連合報告

佐藤理事不在のため、必要があれば、後日メールにて報告する旨説明された。

11. 日本歯科専門医機構

水口理事長より、今後動きがあり次第報告する旨が説明された。

12. 日本老年学会報告

水口理事長より、新型コロナウイルス感染症に関するコンテンツのリンクの依頼、学術大会の開催形式に関して回答した旨、IAGGのプログラム案の提出をした旨が説明された。

13. 老年学会あり方委員会報告

上田理事より報告があった。老年学会に賛助会員を作ること、名誉会員の推薦基準が決まったこと、英語表記と各学会の定数変更は継続審議、高齢者の定義の変更に関して新しいWGができることから、候補者を推薦する必要がある。本学会からは岩崎先生を推薦することにした。

14. 吉田理事が藤田保健衛生大学に赴任することが報告された。

15. 河相大会長より、倫理に対する意識の開きがあるため、学会としても対応をする必要がある旨説明された。

VII. 閉会の辞

羽村副理事長より、閉会の辞が述べられた。

次回理事会開催日：2021年9月13日（月）17：30～20：30／Web会議